

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた題材構想〈図画工作〉

特別研修員 図画工作 養田 智絵（小学校教諭）

題材名 『むすんで広げて』（第3学年） 全2時間計画

題材のねらい

毛糸をつなげて結ぶ造形活動を通して、手や体全体を十分に働かせ、思い付いたことを工夫してつくることができるようにする。

題材構想の意図

本題材では、様々な色、長さの毛糸を自由に使い、場所全体でできることに思いのままに取り組むことを通して、場所の変化を楽しみながら工夫して表現することができるようにしたいと考えました。そのため、「出会う」過程では、材料や場所との出会いを大切にします。「つくる」過程では、材料や場所、友達と関わり合いながら、手や体全体を十分に働かせ、つくり・つくりかえることを楽しませます。中間交流では、自分が気に入った場所にネームプレート（カード）を吊すことで友達と関わり合う中で、発想を広げていきます。「振り返る」過程では、自由な姿勢で鑑賞し、表現のよさを共有し、題材全体を振り返ることで学びが深まるよう構成しました。



活動の様子

過程	主な学習活動	材料と場所から、どんな活動ができるか想像させる
	出会う	めあてをつかみ、活動の見通しをもたせる
つくる	1. 材料や場所と出会い、活動の見通しをもつ	体全体で素材と触れ合わせる
	2. 材料や場所と関わり合いながら、つくり、つくりかえ、つくることを繰り返す	「思い付いたことを試し、つくり、つくりかえ、つくる」を繰り返させる
振り返る	3. 表現活動を振り返る	発想や表現を更に広げさせる
	振り返る	表現活動を振り返らせる

1. 材料や場所と出会い、活動の見通しをもつ

- 童謡「むすんでひらいて」を、「むすんで広げて」と歌詞を替えて歌唱し、毛糸でどんなことができるか想像する。

「結んで」 = 毛糸を結んで
 「広げて」 = 世界を広げよう！
 「手を打って」 = なるほど！友達からアイデアをもらおう！
 「結んで」 = みんなとつながろう！

- 題材のめあてをつかむ。

題材のめあて 毛糸をむすびつけ、友だちと毛糸の世界を広げよう！

材料と場所から、どんな活動ができるか想像させる

授業内容は秘密のまま、事前に様々な大きさの毛糸玉をつくる体験をさせる。導入ではベースとなるロープを張り巡らせる様子を演示しながら、材料と場所からどんな活動ができるか想像させる。



様々な色・長さの毛糸

めあてをつかみ、活動の見通しをもたせる

材料への関心を高め、活動の見通しをもつことができるよう、児童が想像したことを受け止め、題材のめあてを立てる。活動時間や、場所、用具などの留意点を活動開始前に確認する。

体全体で素材と触れ合わせる

場所と空間が変化していく楽しさを十分味わうことができるよう、はさみは使用せず、一玉分は思い切り自由に動き回り好きな場所に結ぶよう促す。五感を使って試し、楽しむ姿を教師は称賛し、児童と共に活動する。

「思い付いたことを試し、つくり、つくりかえ、つくる」を繰り返させる

長さの違う毛糸により、更なる発想を広げることができるよう、一玉分を使い切ったら、予めみんなで丸めておいた小さい毛糸玉も使用してよいことを伝える。

発想や表現を更に広げさせる

活動の流れは止めずに友達や全体の活動が自然に目に入るよう、おすすめポイントを紹介する「ここ見て！カード」を吊し互いに鑑賞し合わせ、中間交流会とする。

2. 材料や場所と関わり合いながら、つくり、つくりかえ、つくることを繰り返す

- 起点にしっかり毛糸を結び付け、教室中の好きな場所に毛糸を結んで広げる。
- 好きな長さの毛糸玉を自由に選び、更に結んで広げる。



壁と毛糸で空間づくり

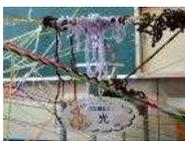


束ねて空間づくり



丸めて吊す

- お気に入りの場所に、「ここ見て！カード」を吊す。
- カードが吊された場所を自由に動き回って鑑賞する。
- 再度、思い付いた表現に取り組む。



ここ見て！カード

3. 表現活動を振り返る

- 「ここ見て！カード」を、最終的なお気に入りの場所に吊し、自分の活動の振り返りをする。
- 様々な視点から自他の表現を見合い、表現のよさを味わう。
- 「むすんで広げて」の後半部を歌唱し、活動を振り返る。

「また広げて」 = 友達のよさを
見付けられたかな
 「手を打って」 = いいね！と拍手しよう
 「その手を上に」 = 完成、バンザイ！



楽しさを分かち合う

表現活動を振り返らせる

自他の表現のよさを味わい見方や感じ方を広げられるよう、みんなで寝転んでみたり、立ち上がってみたりしながら鑑賞し、自分たちの活動を振り返らせる。



全員で寝転んで鑑賞

指導例：『むすんで広げて』（第3学年 第1・2時）

1 材料や場所と出会い、活動の見通しをもつ

○童謡「むすんでひらいて」を、「むすんで広げて」と歌詞を替えて歌い、毛糸でどんなことができるか想像する。

- 「結んで」 = 毛糸を結んで
- 「広げて」 = 世界を広げよう！
- 「手を打って」 = なるほど！友達からアイデアをもらおう！
- 「結んで」 = みんなとつながろう！

題材のめあて 毛糸をむすびつけ、友だちと毛糸の世界を広げよう！



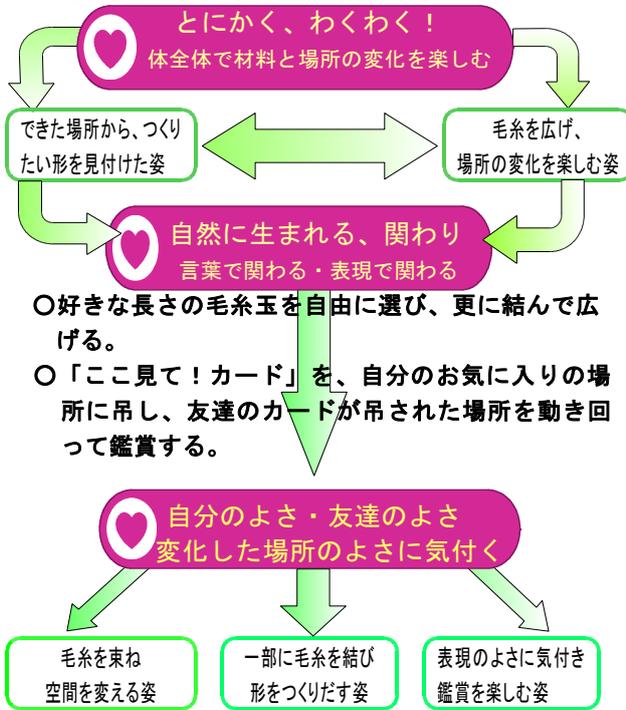
ロープを張る様子



様々な毛糸玉

2 材料や用具と関わり合いながら、つくり、つくりかえ、つくることを繰り返す

○起点にしっかり毛糸を結び付け、教室中好きな場所に毛糸を結んで広げる。



全身で楽しむ姿



先生、見て！



場所が変化する



ここ見て！カード



束ねて空間づくり

3 表現活動を振り返る

○「ここ見て！カード」を、お気に入りの場所に吊し、自分の活動の振り返りをする。

- S：「東京スカイツリーだよ、先生、見て！」
- S：「毛糸から、みの虫が生まれたよ、見て！」
- S：「うわあ、すごい！教室が毛糸の世界だ！」

○様々な視点から自他の表現を見合い表現のよさを味わう。

○「むすんで広げて」の後半部を歌唱し、完成を喜び合う。

- 「また広げて」 = 友達のよさを見付けられたかな
- 「手を打って」 = いいね！と拍手しよう！
- 「その手を上に」 = 完成、バンザイ！



壁を使って空間づくり



まとめて吊す



完成を喜び合う

指導のポイント

つくり、つくりかえ、つくる意欲を掻き立てる演出をする

○材料集めから一貫して、教師は児童と共に楽しむことで、「先生、いったい何を始めるんだろう？」「今日は何ができるんだろう？」という、ワクワク感を引き出す。それにより、「先生、見て！」「こんなことができたよ！」という児童の思いから交流が生まれ、全体でよさを共有できるようにする。



自己決定を後押しする 個別指導を行う

○形や色を意識して思い付いたことに取り組みめるよう、児童の思いを共感的に受け止め、「丸めて吊すとみの虫に見えるね」「束ねた部分が虹のようできれいだね！」「大きく結んだらドアができたね」など、具体的によさを示して称賛する。



思いに寄り添い、共感的な態度で個別指導を行う

○視野を広げたり考え方を深めたりできるよう、「すごい！どうやってこんな風に表現したの？」「ここはどうしたいの？なるほど！あの子に聞いてごらん」「いいね！みんなで寝転んで見てみようか」「虹色のドレスみたいだね。今度はみんなで立ってみて、ドレスを着てみよう！」と、児童の思いを共感的に受け止め、他の児童に紹介する。



図画工作科学習指導案

平成30年6月 第3学年 指導者 養田 智絵

I 題材名 造形遊び「むすんで 広げて」

II 学習指導要領上の位置付け

A 表現

- (1) ア 造形遊びをする活動を通して、身近な材料や場所などを基に造形的な活動を思い付くことや、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えること。
- (2) ア 造形遊びをする活動を通して、材料や用具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくること。

B 鑑賞

- (1) ア 身近にある作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品や身近な美術作品、製作の過程などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げること。

〔共通事項〕

- (1) ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じ分かること。
イ 形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと。

III 目 標

毛糸をつなげ結ぶ造形活動を通して、手や体全体を十分に働かせ、思い付いたことを工夫してつくることができるようにする。

IV 指導計画 ※別紙参照

V 本時の展開（1／2・2／2）

- 1 ねらい 毛糸をつなげ結ぶ造形活動を通して、手や体全体を十分に働かせ、思い付いたことを工夫してつくることができるようにする。

2 展開

学習活動（分）

○：留意点

点線囲：評価

☆：振り返りの子供の意識

1 材料や場所と出会い、活動の見通しをもつ。(10分)

○本時の造形遊びの材料となる毛糸は、事前に児童に毛糸を集めさせ、教室の透明ボックスに収集させる。その際、用途は伝えず、毛糸を玉に丸める体験をさせ、期待感を高めるとともに、様々な色の毛糸の中から好きな色のものを選ばせる。

○童謡「むすんで ひらいて」を、「むすんで 広げて」と歌詞を替えて歌唱する。

「結んで」 = 毛糸を結んで

「広げて」 = 世界を広げよう！

「手を打って」 = なるほど！友達からアイデアをもらおう！

「結んで」 = みんなとつながろう！

○児童の目の前で、替えて歌唱しながら、ベースとなるポリプロピレンロープを図工室内に張り巡らせる様子を演示する。

○毛糸を自由につなげて広げていくことを提案する。

めあて 毛糸をむすびつけ、友だちと毛糸の世界をひろげよう！

2 材料や用具と関わり合いながら、つくり、つくりかえ、つくることを繰り返す。(70分)

○安全に活動するためのルールの確認をする。

○事前に選んだ好きな色の毛糸一玉を持ち、起点にしっかり結び付けるよう伝える。

○自由に歩き回り毛糸を好きな場所に張り巡らせるよう伝え、教師も共に活動する。

○十分に素材を用意し、広い活動スペースで手や体全体を使って自由に活動させる。

○長さの違う毛糸により、更なる発想を広げることができるよう、一玉分を使い切ったら、予めみんなで丸めておいた小さい毛糸玉も使用してよいことを伝える。

○はさみは基本的に使用しないこととし、結ぶことで表現するよう助言し個別支援する。

○毛糸がたわみすぎた箇所は、機を見て教師がポリプロピレンロープで引き上げる。

○児童の表現は具体的に紹介、称賛し、自己決定を後押しする個別支援を行う。

○友達表現を積極的にまね、教え合うよう助言し、交流を促す。

毛糸をつなぐ活動に繰り返し取り組んでいる。

<観察(1)>

毛糸をつなぐ場所を変えたり、つなぎ方を変えたりしながら、思い付いたことを工夫してつくることできる。

<観察(2)>

○氏名をラミネートした「ここ見て！カード」を児童が見て欲しいポイントに吊すよう伝える。

○活動の流れは止めずに友達や全体の活動が自然に目に入るよう、おすすめポイントを紹介する「ここ見て！カード」を吊し、互いに鑑賞し合うことで中間交流会とする。

○吊された「ここ見て！カード」を巡り自由に動き回ったり、寝そべったりして、視点を変えながら鑑賞するよう伝える。

○視野を広げたり考え方を深めたりできるよう、児童の思いを共感的に受け止め、他の児童に適宜紹介する。

友達結び方から、形や色、空間の工夫を見付けることができる。 <鑑賞の能力・観察>

○相互鑑賞したことを踏まえながら毛糸をつないで張り巡らせるよう促す。

○相互鑑賞したことを踏まえながら、結ぶ場所や結び方を工夫するよう助言する。

○「ゆらゆら」「びゅーん」などのオノマトペのイメージで結んだ児童を適宜紹介する。

○「蜘蛛の巣」「みの虫」など具体的なイメージで結んだ児童を適宜紹介する。

形や色を意識して、毛糸の結び方や組み合わせを試行錯誤し、工夫している。

<技能・ラミネートカード>

3 表現活動を振り返る。(10分)

○「ここ見て！カード」を、最終的に児童が見て欲しいポイントに吊し、みんなで寝転んだり、立ち上がったたり、少し離れたりして視点を変えながら、自他の活動を振り返るよう伝える。

自他の表現から、できた形や空間、色の工夫やよさを見付けることができる。

<鑑賞の能力・観察>

○替え歌「むすんで広げて」の後半部を歌唱させ、完成を喜び合う。

「また広げて」 = 友達のよさを見付けられたかな

「手を打って」 = いいね！と拍手しよう！

「その手を上に」 = 完成、バンザイ！

☆毛糸を結んで広げて、素敵な世界ができあがったよ。

指導計画 図画工作科 第3学年 題材名「むすんで 広げて」(全2時間計画)

目標	毛糸をつなげ結ぶ造形活動を通して、手や体全体を十分に働かせ、思い付いたことを工夫してつくることができるようにする。		
評価 規 準	(1) 自己の思いに沿った毛糸のつなぎ方を工夫することができる。 (2) 毛糸をつなぐ場所や、つなぎ方を思い付き、試行錯誤しながら、毛糸のつなぎ方や組み合わせから、形や色を発想することができる。 (3) 毛糸をつなげたり、全体での表現の広がりを楽しむことができる。 (4) 毛糸のつなぎ方や組み合わせから、できた形や空間、色のよさを見付けることができる。		
過程	時間	○ねらい めあて	☆振り返り (意識) ◇評価項目 〈方法 (観点)〉
出 会 う	1	○毛糸をつなげ結ぶ造形活動を通して、手や体全体を十分に働かせ、思い付いたことを工夫してつくることができるようにする。 ・活動内容は秘密のまま、児童に毛糸を集めさせ、事前に玉に丸める体験をさせておく。 ・児童の目の前でベースとなるポリプロピレンロープを図工室内に張り巡らせ、活動への関心を高める。 ・童謡「むすんでひらいて」を歌唱した後、「むすんで広げて」と歌詞を替えて歌唱させる。 ・毛糸を自由につなげて広げていくことを提案する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 毛糸をむすびつけ、 友だちと毛糸の世界を広げよう！ </div>	
つ く る	1	・安全に活動するためのルールの確認をする。 ・事前に選んだ好きな色の毛糸一玉を持ち、起点にしっかり結び付けるよう伝える。 ・氏名をラミネートした「ここ見て！カード」を児童が見て欲しいポイントに吊すよう伝える。 ・吊された「ここ見て！カード」を巡り自由に動き回ったり、寝そべったりして、視点を変えながら鑑賞するよう伝える。 ・相互鑑賞したことを踏まえながら毛糸をつないで張り巡らせるよう促す。 ・相互鑑賞したことを踏まえながら、つなぐ場所やつなぎ方を工夫するよう助言する。	☆発見！結び方でいろんな工夫ができるんだね。 ◇毛糸をつなぐ活動に繰り返し取り組んでいる。 <観察(1)> ◇毛糸をつなぐ場所を変えたり、つなぎ方を変えたりしながら、できる形や空間を試行錯誤している。 <観察(2)> ◇友達の結び方から、形や色、空間の工夫を見付けることができる。 <観察(4)> ◇形や色を意識して、毛糸の結び方や組み合わせを試行錯誤し、工夫している。 <ここ見てカード(3)>
振 り 返 る		・「ここ見て！カード」を、最終的に児童が見て欲しいポイントに吊し、みんなで寝転んだり、立ち上がったたり、少し離れたりして視点を変えながら、自他の活動を振り返るよう伝える。 ・替え歌「むすんで広げて」の後半部を歌唱させ、完成の喜びを味わわせる。	☆毛糸を結んで広げて、素敵な世界ができあがったよ。 ◇自他の表現から、できた形や空間、色の工夫やよさを見付けることができる。 <観察(4)>